



2024年度の成果①

陸前高田市「企業等による森づくり制度」第1回7社合同協定締結式開催

第1回協定締結式を2025年2月4日に開催しました。陸前高田市の「企業の森」19区画のうち7区画で企業が活動を行います。今後の活動は、SEFが企画運営を行い、現地での活動支援を市及び陸前高田市森林組合がサポートします。



記念品の盾



7社合同協定締結式

上段	ワタミエナジー(株) 山崎代表取締役	陸前高田市 石渡副市長	陸前高田市森林組合 菅野組合長	陸前高田市 佐々木市長	SEF 渡邊代表理事	SEF 志岐理事	SEF 百瀬業務執行理事	SEF 長野顧問
下段	(株)ウェストボックス 鈴木代表取締役	(株)ガイアドリーム 佐藤代表取締役	(株)ニッスイ 浜田代表取締役	(株)ボンマックス 外川代表取締役	理研ビタミン(株) 宮澤執行役員	(株)ローソン 坂本東北カンパニープレジデント	ワタミ(株) 清水副社長	

企業の森づくりで想定されるメリット

- 【企業】
- ①気候変動への対応や生物多様性活動
 - ②社員やその家族のウェルビーイング、ESDの場としての活用
 - ③地域市民、社員家族との交流の場の提供

- 【陸前高田市】
- ①荒廃した森林の森林機能の維持増進を図ることができる
 - ②市への来訪者が増えることにより交流人口の拡大及び地域の活性化



森林組合との林業講習



除伐体験



2024年度の成果②

陸前高田市は森林から創出されたJ-クレジットを販売開始

陸前高田市は、市有林の森林経営計画上の森林のCO₂吸収量を算定し、その吸収量をクレジットとして国の認証を取得し、販売を開始しました。

SEFは、会員企業に対し、普及啓発活動を行います。

クレジットの活用

- 【企業】
- ①自社の排出するCO₂の相殺（カーボンオフセット）
 - ②気候変動への対応による環境貢献での企業価値の向上

- 【陸前高田市】
- ①収益を市有林の森林再生や保全活動に活用



クレジット創出の森

※「企業等による森づくり制度」「森林から創出されたJ-クレジット」は、2023年11月に陸前高田市とワタミエナジー株式会社と締結した「森林資源の活用に関する連携協定」に基づく、自治体と企業等が連携した森林保全活動の促進に関すること、森林クレジット及び森林生態系に係る調査・普及・啓発に関することを通じて制度化されました。

2024年度森林アカデミー

2024年度 40社 延べ186名参加



2024年度より新たに「森林アカデミー」を開講しました。年6回開催し、「なぜ企業が森に関わるのか」をテーマに、企業が森に関わることによって、森林再生や保全活動を通じた森林のCO₂吸収能力の向上、生物多様性への取り組みなどの環境貢献の学びや機会を提供します。また、木材の利活用や社員の研修、福利厚生、健康経営などウェルビーイングに関わる機会と学びを提供し、その活動が企業のESG関連の情報開示にもつながる取り組みとして実施します。

2024年4月25日(木) 第1回勉強会 「なぜ企業は森に関わるのか」

参加：15社 30名
株式会社モリアゲ 代表取締役 / SEF 顧問
長野麻子氏

日本の森や木の可能性について、世界の森林減少、日本の森の歴史や森の持続的なサイクルと大切な役割、Jクレジット制度や非住宅のウッドチェンジなどを、事例を交えてご紹介いただきました。

2024年10月16日(水) 17日(木) 第4回勉強会 「陸前高田市 企業の森実地研修」

参加：6社 15名
企業の森制度の協定に向け、参加希望企業とともに実際に活動する森の見学やJクレジットを購入する森を1泊2日で研修をおこないました。



2024年6月27日(木) 第2回勉強会 「企業価値を高める森林とのつきあい方を考える～企業の森は未来への投資～」

参加：17社 38名
三重森林インストラクター会会長 佐野正和氏

企業の森を行う三重県を例として企業の森を進めるにあたり、留意することなどをお話しいただきました。



佐野氏ご講演

2024年12月19日(木) 第5回勉強会 「カーボンクレジットの最新動向」

参加：18社 35名
株式会社ウェストボックス代表取締役 / SEF 理事
鈴木修一郎氏

カーボンクレジットを利用した環境価値とは何なのか、そしてその環境価値をどのように利用していくのか、作る側、売買取る側、使う側のそれぞれに関わる制度や特徴をご紹介いただきました。



鈴木氏ご講演

2024年8月28日(水) 第3回勉強会 「ネイチャーポジティブ経営と森林活動の重要性」

参加：16社 30名
日経 ESG シニアエディター / 東北大学大学院教授
藤田香氏

生物多様性の損失を止め、プラスに転じさせるネイチャーポジティブへの取り組み方について事例を交えてお話しいただきました。



藤田氏ご講演

「生物文化多様性と森林：国連の条約から非木材林産物まで」

東京大学大学院教授 / SEF 理事 香坂玲氏

森林を支えるのは、様々な生物が係る物質循環であり、ある物質の循環は他の物質の循環と関わり合いながら進んでいるお話をいただきました。

2025年2月21日(金) 第6回勉強会 「森林・人・企業が活性化する地方創生」

参加：18社 38名
林野庁森林利用課山村振興・緑化推進室長
諏訪幹夫氏

日本の森林の現状や企業の森づくりについて事例を交えてお話しいただきました。



林野庁諏訪氏ご講演

「地域生物多様性増進法について」

環境省自然環境局自然環境計画課企画係長
和田光央氏

4月より法制化される自然共生サイトについて、変更点などご説明いただきました。



公益財団法人

Save Earth Foundation とは

私たちは、美しい地球を未来の子どもたちに残すため、

限りある自然資源を有効利用し、

持続可能な循環型社会づくりに貢献することを目的として活動しています。

事業内容 食品リサイクルループと廃棄物の適正処理を推進する資源循環事業と、森林の再生保全、生物多様性の保全、環境教育を推進する森林再生事業に取り組んでいます。

所管官庁 内閣府大臣官房（公益法人行政担当室） 代表理事 渡邊美樹

賛助会員 入会のご案内

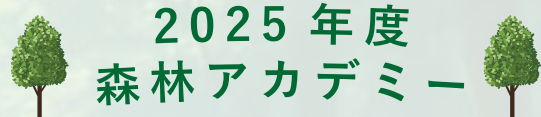
会 員 特 典

森林アカデミーに無料でご参加いただけます！
森林再生・保全活動、木材利活用、生物多様性、脱炭素など
様々な分野の専門家からのアドバイスを受けることができます！
※ゼロエミッション研究会の受講もされる方は別途3万円（年額）を頂戴いたします。

年会費

特別賛助会員：1口500,000円 賛助会員（民間）：1口50,000円
賛助会員（個人）：1口10,000円
※入会金 20,000円 ※年度期中の入会の場合、月割で当年度分の会費額で算定します。

開催決定



テーマ

なぜ企業が森に関わるのか

- ◆ 企業の森参加企業拡大
- ・ 陸前高田市の企業の森参加企業拡大
- ・ 社員のウェルビーイングの実践の場の提供

環境・CSR担当者必見！



日程

第1回 4月24日（木） 第2回 6月19日（木） 第3回 8月21日（木）
第4回 10月16日（木） 第5回 12月18日（木） 第6回 2月19日（木）
陸前高田市実地研修 6月26日（木）、27日（金）
※各日とも15時～17時00分

対象

SDGs への取組を推進したい食品小売業、
外食産業・食品製造業の環境・CSR 担当者、
リサイクル関連事業者、生産者、行政担当者他

費用

70,000円 / 社 （賛助会員は無料）

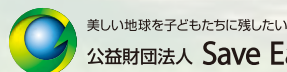
会場

公益財団法人 Save Earth Foundation 事務局
（ワタミ本社ビル会議室又は都内貸会議室）
※各回の詳細はメール、ホームページ等でご案内します

お申込み・お問い合わせ

スタッフが詳しく説明いたします。
まずはお気軽にお問い合わせください！

公益財団法人
Save Earth Foundation 事務局
TEL 03-5737-2744
E-mail info@save-earth.or.jp



美しい地球を子どもたちに残したい
公益財団法人 Save Earth Foundation

TEL:03-5737-2744 FAX:03-5737-2793
E-mail:info@save-earth.or.jp



ミックス
責任ある木質資源
使用した紙

仮

森林アカデミー 成果レポート 2024

SEFが取り組む森林再生

日本は国土面積の約66%が森林に覆われた世界有数の森林大国です。森林は生物多様性の保全や地球温暖化の防止など様々な機能を通じて私たちに多くの恩恵をもたらしています。SEFはこの豊かな森林を未来の子どもたちに残していくため、各地で活動をしています。

SEFの 活動拠点

- 資源循環事業のリサイクルループ拠点
大臣認定6件、申請準備中3件
- 森林再生事業の拠点
自然共生サイト申請予定2か所



公益財団法人

Save Earth Foundation